

全日中事務局だより

▼全日本中学校長会事務局で七年間にわたって重責を担われた松澤宏尚事務局長は、三月三十一日をもって退任いたしました。なお、松澤前事務局長は、全日中会館の法人化に向けた担当として、週二日の勤務を継続して参ります。

四月一日より事務局長の仕事を富士道正尋が引き継ぐことになりました。

これまで全日中会計部長として、本会の活動を支えてきました阿部善雄が事務局主幹として着任いたしました。昨年度と引き続き樋口貴子、堀川智子も含め、皆で力を合わせて業務を推進して参ります。皆様の御支援のほど、宜しくお願いいたします。

▼事務局業務方針について

事務局は、不易と流行を大切にした業務改善を進めて参りたいと考えております。これまでの長い歴史の中での諸先輩方の築き上げてこられた全日中

の良き伝統を継承しつつ、時代の変化に柔軟に対応できる事務局運営に心がけて参ります。

そのために、より風通しの良い事務局でありたいと考えています。これは、全日中事務局内部だけではなく、全国の各事務局様との間においても、同様の風通しの良さが必要であると思えます。

また、我が国は少子化の影響を受け全国の中学校数の減少が続いていまいなっています。一方で、全ての活動を従来どおり計画・実施すれば、単年度決算の視点からは、将来、大きな課題が生じてくるのが想像できます。全日中としての活動が停滞することのないよう、全日中事務局としましては、オンラインも活用しながら、より良い全日中の活動の在り方を模索していく必要があると考えています。会員の皆様から様々なお知恵を拝借しながら、充

実した事業展開をして参ります。

▼最近の話題から

昨年十月から、「運動部活動の地域移行に関する検討会議」が開催されています。五月には、中間まとめが公表される予定です。これまで学校が主体となつて活動してきた部活動を最終的には学校から切り離し、地域に移行させようとする計画です。この背景には、教員の働き方改革の推進という側面と、少子化による生徒の減少により、部活動の成立が難しくなってきたという時代の大きな流れの側面があります。全日中は基本的にこの動きに賛成の立場です。一方、地域での受け皿をどうするのか、その財源の在り方や大会参加に関わる要件の緩和など、今後、具体的な課題をどのように解決していくか、関係者全員が知恵を出し合っていくことが重要だと考えています。全ての条件が揃うのを待っています。全ての計画は一步も前進しません。

今後、国での検討会議の進捗を見守りながら、国や各自自治体の支援体制の盤石な構築が望まれるところです。

▼新会員の皆様へ

本会は、昭和五十二年「中学校教育三十年」の記念事業として、全日中の将来を展望し、中学校教育振興を期して、我が国の教育に影響を及ぼす諸課題への対策活動を強力に展開する財政基盤の確立のため、全会員の拠出による「全日中基金」を創設しました。以来、毎年新会員に拠出していただき、基金の積立を継続しています。

▼基金の継続と拠出依頼

基金の趣旨、基金管理運営規定、同細則、拠出依頼書等の関係文書は、都道府県中学校長会事務局を通して新会員の皆様のお手元に届けられます。基金の趣旨を御理解いただき、新会員の皆様には基金継続に御協力くださいますよう、お願いいたします。

▼「全国中学研究校便覧第三四集」

を六月に刊行します。頒布価格一冊一、〇〇〇円となっております。ぜひ、校内研究や管外視察などの際の参考にさせていただければ幸いです。

各都道府県中学校長会事務局扱いで一括して御注文いただいています。

▼「週案」全日中の「週案」は、学校経営に資するものであり、市販されているものより使い勝手がよく安価であると御好評をいただいています。頒布価格は一冊九〇〇円です。A4判のサイズで、最大の特徴は全ページが一八〇度開く作りになっている所です。また、現場の声をお聞きし、より使いやすい「週案」を提供できるよう、事業部で努力を重ねています。

▼「全日中教育ビジョン『学校からの教育改革』令和二年五月策定」につきましては、全日中総務部を中心に各都道府県からの御意見をいただき改訂を行い、一昨年発行いたしました。変化の激しい予測困難な時代にあって、子

供たちが予測できない変化に対し、自らの可能性を発揮していくことが期待される時代になっています。校長として、自らの言葉で自身のビジョンを発信していく必要があります。新会員の皆様に配付いたしますので、ぜひ、御活用ください。

▼全日中ホームページについて

全日中ではホームページを立ち上げています。

会員の皆様には、各事務局からIDとパスワードが通知されていますので、一度、御覧頂きたいと思っています。URLは次のとおりです。

<https://www.zennichu.com/>

会員訃報

東京都日野市立日野第四中学校長
中村 宏様 六十歳 十二月二十二日

謹んでお悔やみ申し上げ、御冥福をお祈り申し上げます。

(事務局長 富士道正尋)